

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	北広島町立芸北中学校
-----	------------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

○給食はランチルームでとっている。生徒の食への関心は高く、芸北の食材への知識があり、給食へ地元食材が積極的に利用されていることを理解している。

○給食をランチルームで食べているため、全教職員がマナー指導等の食育に関わりやすい。

○H29 年度に実施した食育に関する校内研修実施で、各教科と食の関連について研修した。その内容を受け、H30 年度は各教科を関連付けた食に関する年間指導計画を作成した。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

○望ましい食事の仕方や食習慣を理解し、自らの健康の保持増進をしようとする生徒の育成。

・食事のマナーを意識して食事ができる生徒 90%以上

・健康を考え、苦手なものも食べようとする生徒 70%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ）授業を通じて実施する食育の取組

○2年生において特別活動、理科、給食時間の指導を関連付けて授業を実施することができた。また、給食時の指導資料は、教科との関連を意識した内容として取り組んだ。

○2年生家庭科、単元「食生活と栄養」に、家庭科担当教諭と取り組んだ。学校給食へ取り入れることを前提に計画、調理実習を実施した。給食に出すメニューの選考は、生徒が献立の特徴などをまとめた資料を掲示し全校で投票し決定した。

○2年生は家庭科で夏休みの課題で食事作りに取り組んだ。レポートは夏休み明けの芸中祭で掲示し交流を図った。

○1年生は、食べこむ量が少ない女子が多い実態を踏まえ、担任・養護教諭と連携をして特別活動で授業を実施した。

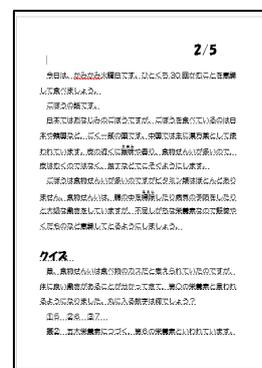


【取組 2】（テーマ）「つなぐ」食育の取組

○PTA 給食試食会では、ひろしま給食をメニューに取り入れると共に、献立の趣旨とその日のメニューのレシピを載せた資料を配布した。

○芸北ブロック健康教育部会で「口から健康を考える」をテーマに取り組んだ。給食を通じてできる取組として、毎週火曜日を「かみかみ火曜日」に決め、献立表や給食時間の指導資料に記載して「よくかむこと」の意識付けを行った。

○北広島町夢プロジェクトの一環として実施される北広島町「夢プロ給食」給食メニューコンテストへ、全校で応募するように取り組んだ。



○食育だよりは、毎月、簡単にできる給食メニューを載せ、生徒・保護者に情報提供した。

【取組3】(テーマ) 給食時間でのマナー向上の取組

○給食時間に全職員で継続的にマナーの指導に取り組んだ。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○ひろしま給食について「食育だより」を作成し、各家庭に配布。裏面には、県教委から配布されたチラシのレシピを再度印刷した。

○ひろしま給食が給食に出る日がわかるように献立表に表示をした。

○給食時間に使用する指導資料で、100万食プロジェクトの趣旨の説明や献立について紹介をした。

○北広島町食育推進部会で、「ひろしまオールスター★担々丼」に組み合わせる北広島町独自のメニューを考えた。

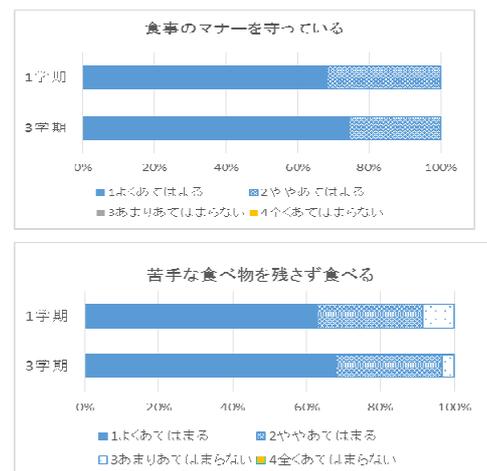
○町内の各施設でスムーズに調理が行われるように、夏季休業中に実施される調理員研修会には、ひろしま給食の調理実習を組み込んだ。試食後、調理方法や味つけについて意見交流を行った。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

○食事のマナーは、100%の生徒が肯定的回答をしているが、「よくあてはまる」という回答は、1学期68%⇒3学期74%となった。

○苦手な食べ物があると回答した生徒は100%と変化はなかったが肯定的回答した生徒は91%⇒97%で、「よくあてはまる」と回答した生徒は1学期62%⇒68%となった。



【課題】

○食事のマナーは肯定的回答が多いが、実際に生徒の様子をみていると、「食器をもって食べること」「正しく箸を持つ」など、できていないことも多くある。

○食事のマナーに関して生徒の意識は、食事の時だけのことを考えているようなので、準備から片づけまで意識を広げるように取り組む必要がある。

6 今後の取組に向けた改善方策について

○効果的に学校教育全体で食育がすすめられるように、全体計画の見直し等をおこなっていく。

○栄養教諭が校内でコーディネーターとして、教諭をつないでいく。

○家庭でも、協力してもらえそうな情報発信の方法や、取組をすすめていく。